

# 「学んだこと生かしたい」

健康増進  
リーダー

## 新たに34人に認定証

弘前市と弘大

ひろさき健康増進リーダー5期生の認定証授与式が25日、ヒロコ3階健康ホールで行われ、34人が新たに認定され、今後の健康づくり活動に意欲を示した。これまで認定されたリーダーはこれで合計165人になった。授与式は弘前市と弘前大学の共催。市は市民の健康増進を図るため、弘前大学に寄付講座「地域健康増進学講座」を開設しており、今年度は昨年9月から約4カ月間の研修を終えた34人が新たにリーダーに認定された。同日の授与式では、山本昇副市長が、「自身も健康であり、さらに多くの方が健康づくりに取り組めるようリーダーとして活躍してほしい」とあいさつ。弘前大学大学院医学研究科社会医学講座の中路重之教授が、「一緒に頑張っていきたい」と激励、認定証書やそろいのポロシャツなどを手渡した。認定者を代表し、奥谷さつ子さん(66)が「これから何ができるか、不安と期待が入り交じっている。自分の立ち位置で学んだことを生かし、できることからやっていきたい」と意気込みを語り、ともに活動を展開することになるひろさき健康増進リーダー会の八木橋喜代治会長が「歓迎したい」と述べた。



34人が新たに認定されたひろさき健康増進リーダーの認定証授与式

今後は市などが行う健康教室への協力や健康啓発など各地で健康づくり活動を展開する。

(今井珠世)